

君の知らない

前篇

みちのく


Atami Michinoku

アタミ




親友を
犯してしまった





眠ったまま
意識のない彼を
犯してしまつた

その上
罪悪感はあるも



不思議と
後悔の念はなかつた





あー…

先週の飲み会で
一緒だったんだけど
付き合わないかって
言われてさ



わりー
待たせたな

ううん

話し込んでた
みたいだけど



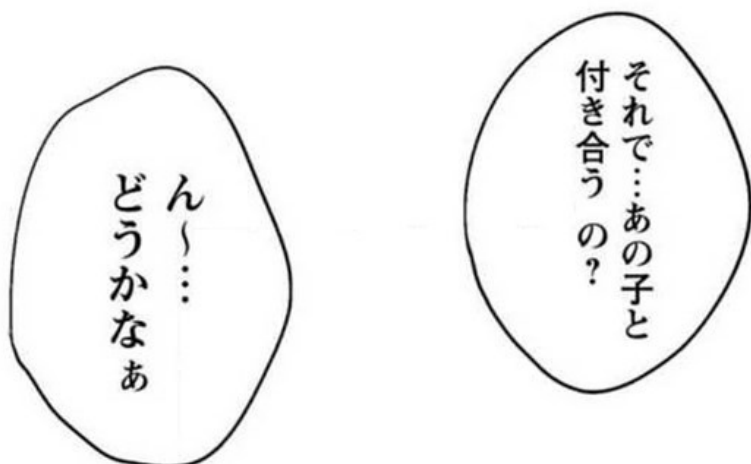
女の子といるより
お前と遊んでる方が
今は楽しいわ

…そっか

ちんちん



…



それで…あの子と
付き合うの？

ん…
どうかなあ



お前は
どーなんだ？
アキラ

え？

好きなやつとか
いねーの？
ってこと



今横にいる
やつですが

いないかな…

って言いたい！



えーか
えーか
よかったわー
お前に彼女できたら
家に押しかけられない
もんな！

ってことで今日
行つていい？

えええー…
焼酎のストック
ないよ

正念が
飲たしたら

じゃあ駅前の
スーパー寄ろうぜ







本当に…
起きないの…?



…

…



初めは
こんなノリで





起きてしまったら
その時は

酒のせいにして
しまおうと
逃げ道を作った

これが初犯

ちよっと
かさついで
熱い……





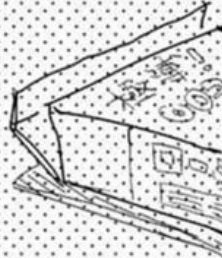
全く気づいていない
正人の様子が

ぼくの行為を助長させ
止め処を失ってしまい

徐々に

徐々に

正人の身体を
冒していった



すごいね…
最初は指一本でも
きつかったのに





最初こそは強く
あった罪悪感も
今では薄れてしまった

きもちい...

あー...

くちゅ

は

は

くちゅ



くちゅまどさねても
起きないなんこ...

そねーじいも

心配に
なるなあ

はあ



起きてたら
どんな声を出
すのかな

はあ

ん



意識があれば
どんな顔を
するんだろう

は

は

ぐ



聞きたい...

正人の声が
聞きたい

はあ

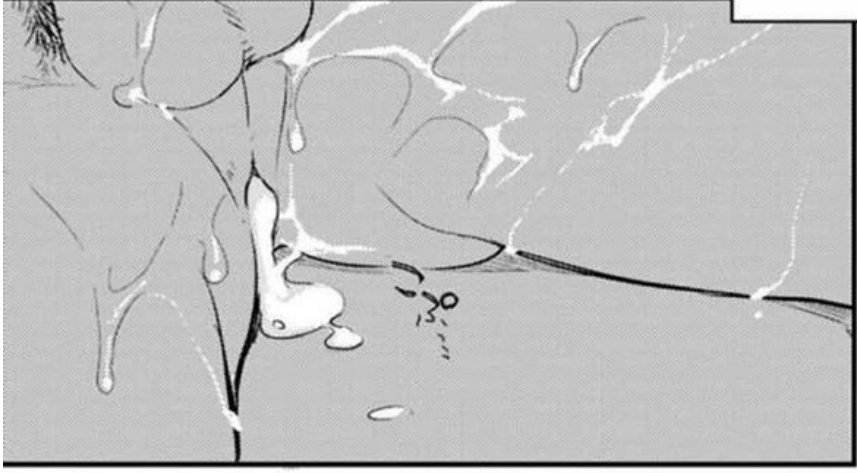
はあ

は

はあ

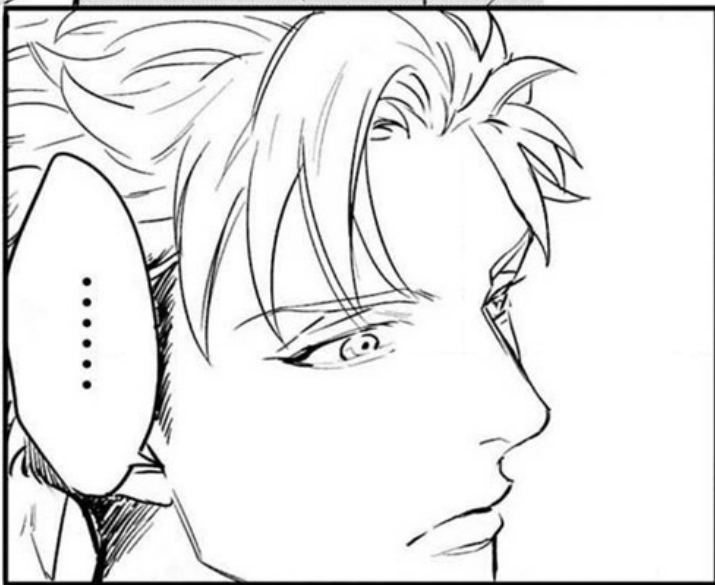


目を開けて



ぼくを見て

正人……







みちのく

Atami Michinoku

アタミ

後篇

君の知らない○○○

最低最悪の

ホモ野郎
じゃねーか

マジでない

ないわ…

親友ネタにして

ちんこ
おっ勃てて

はる、
それどころか
い挿入れ…っ



なんつー夢
見てんだよ

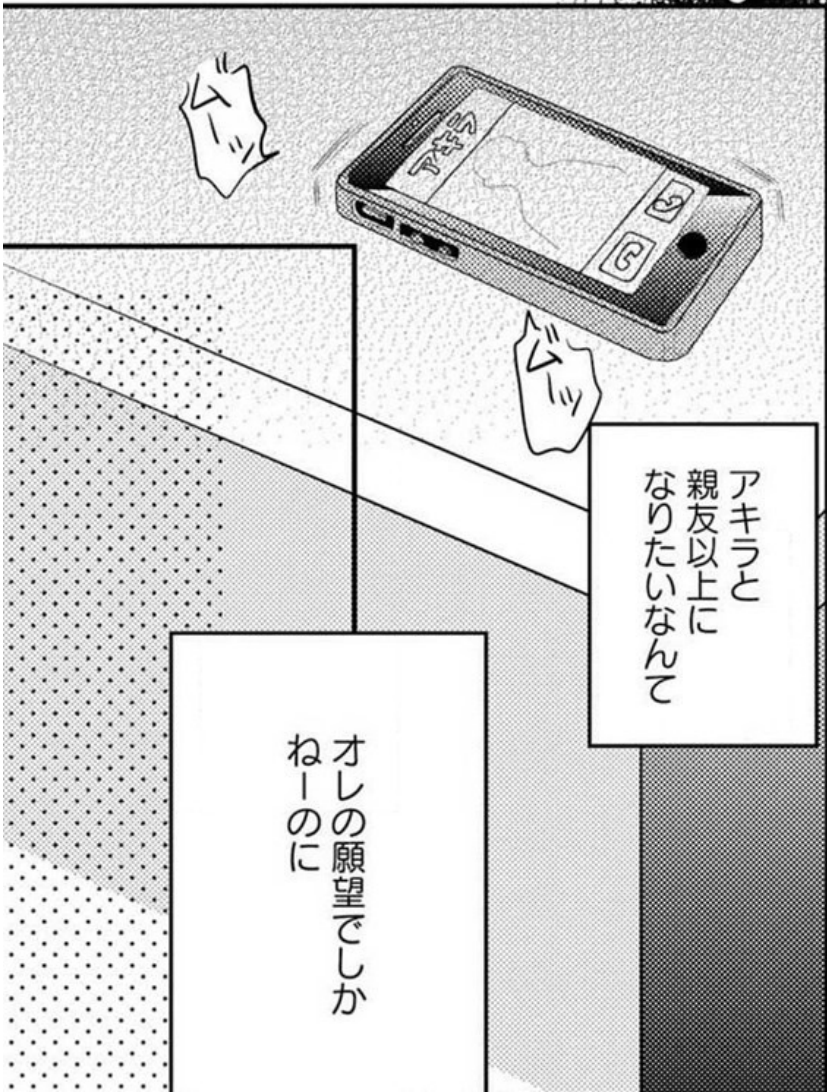
オレ…！



夢じゃなきや
ありえないだろ
あんなふう
に
触るなんて…



あのアキラが

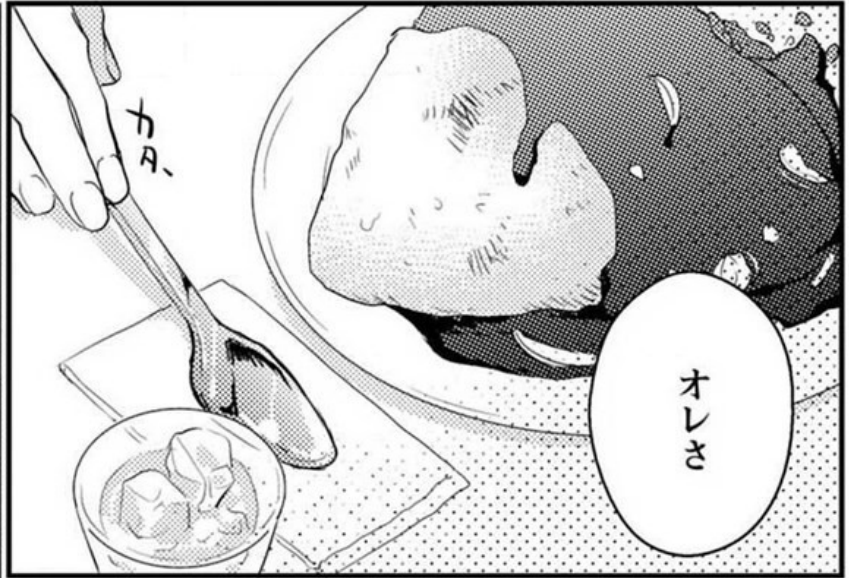
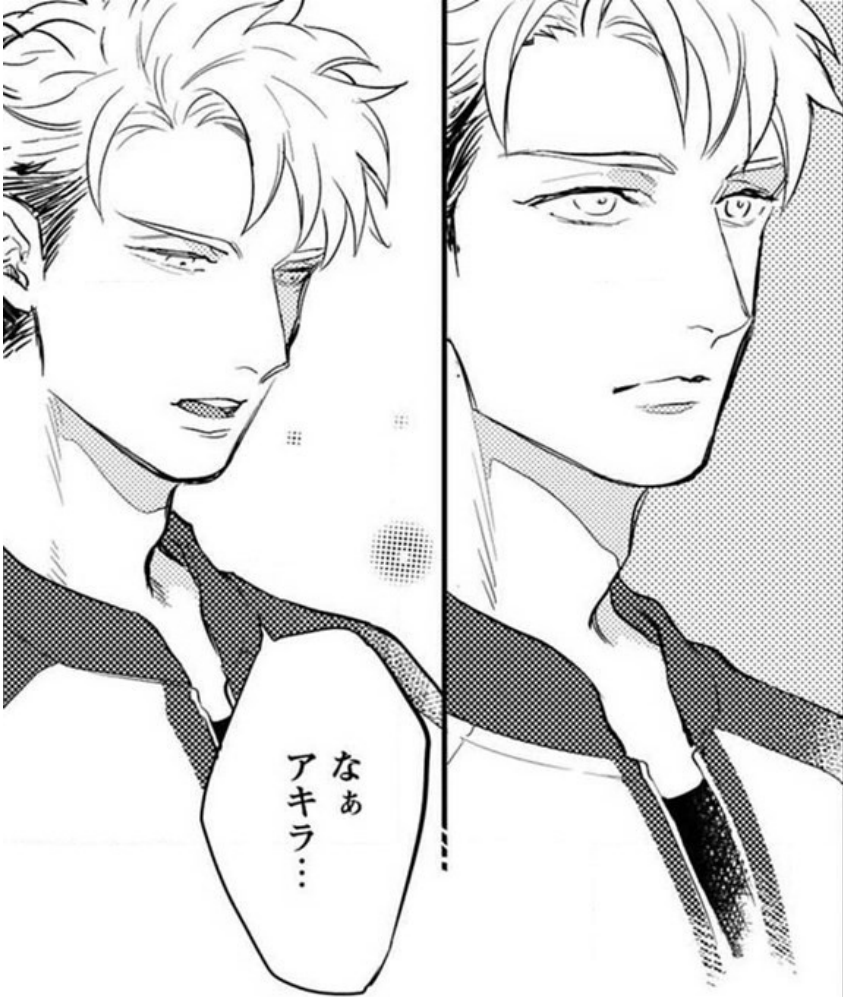


アキラと
親友以上に
なりたいなんて

オレの願望でしか
ねーのに









そういえば
言ってたな…

えっ

ガクガク



いやっ!
別に深い意味は
ないけど
ほら…

オレ寝相
悪いしさ!
寝言もひどい
かなーって



まったく
じじいせんやよ…



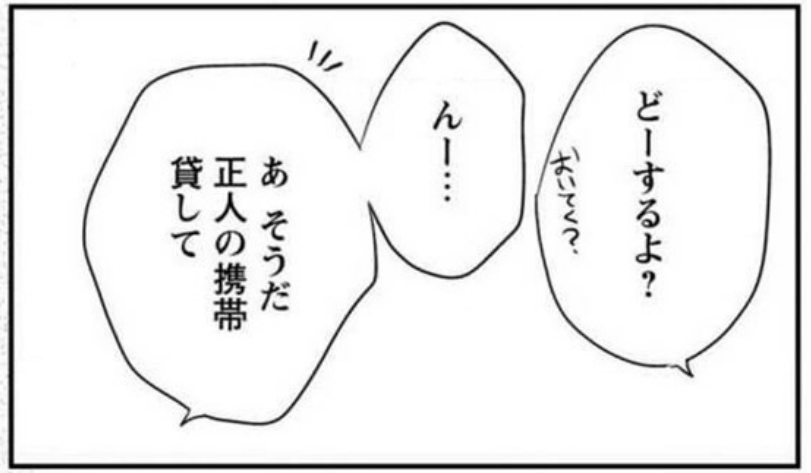
もうおなか
いっぱい
食べれないよーって



おっまえなー!
ふざけてるだろ!?

あはは!
寝言はともかく
正人って
寝汚いよね







あ

これ

知ってる

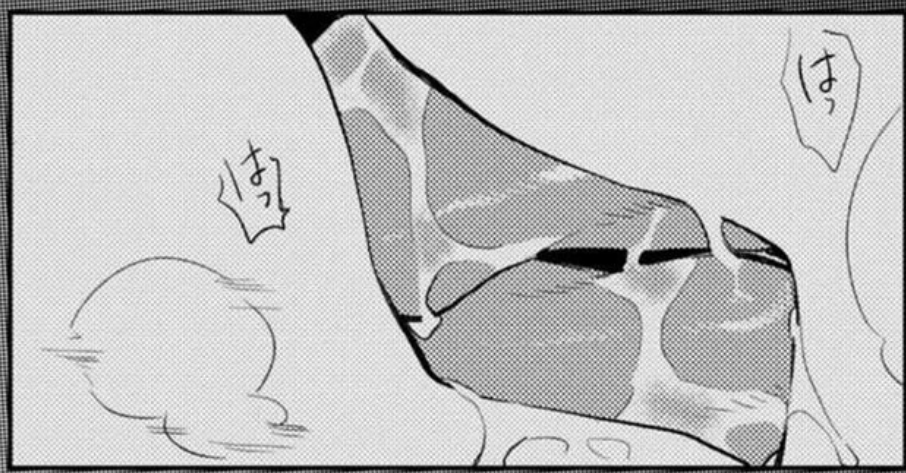


.....?

なんか口に
当たってる...?



夢で見た
アキラの
感触だ...



は

あ

ふわふわする



夢...?

またなのか?

気持ちいい...

違う

だめだ

起きなきや

おれ 飲み屋に
いるのこ…

勃ちちまう…!!

や…めろ!!







それじゃ…

今までののは
全部…



いつもなら
起きないのに…

正人 なんて



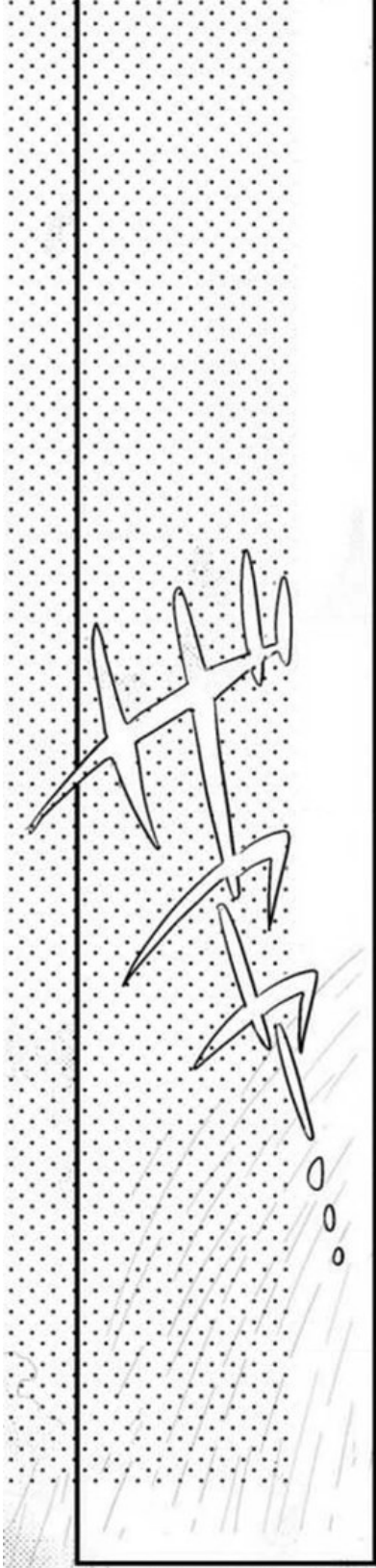
いつも…!?

…って！
いやそれは



正人 あの…

ありえねー



お前が
何考えてんのか
わかんねーよ…

アキラ…



あのアキラが

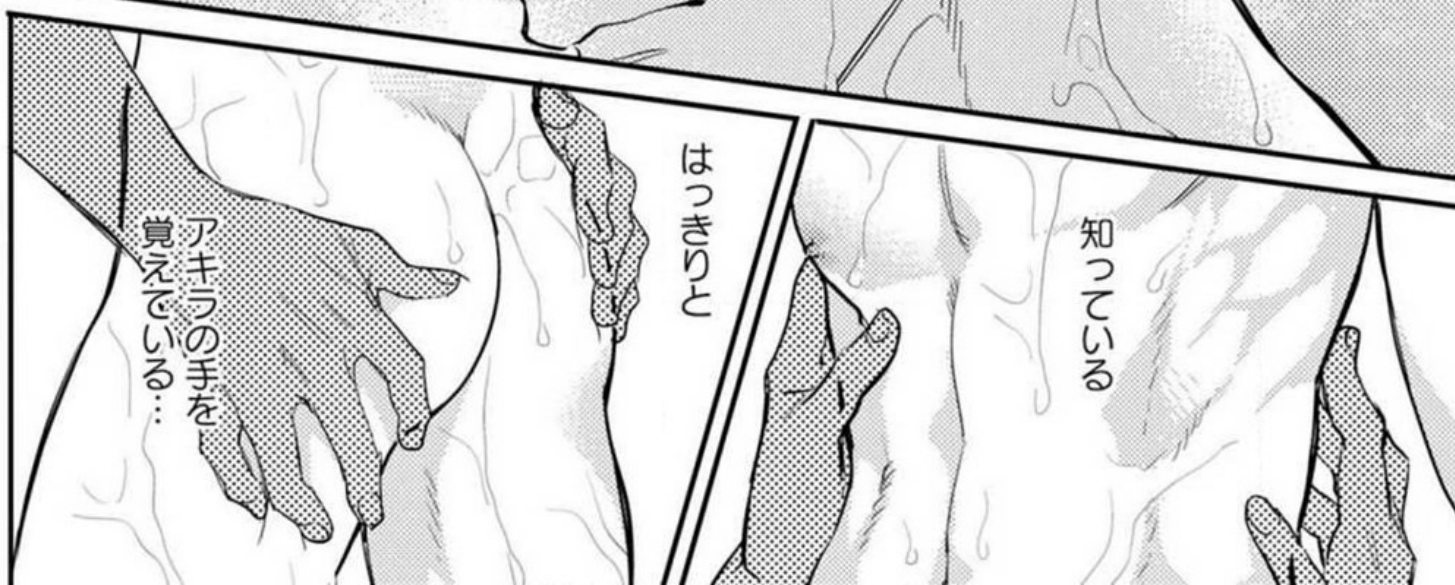
信じらんねえ

知らない間に
オレの身体を...



おかしい

オレは知らない
はずなのに



アキラの手を
覚えている...

はじきこ

知ってる



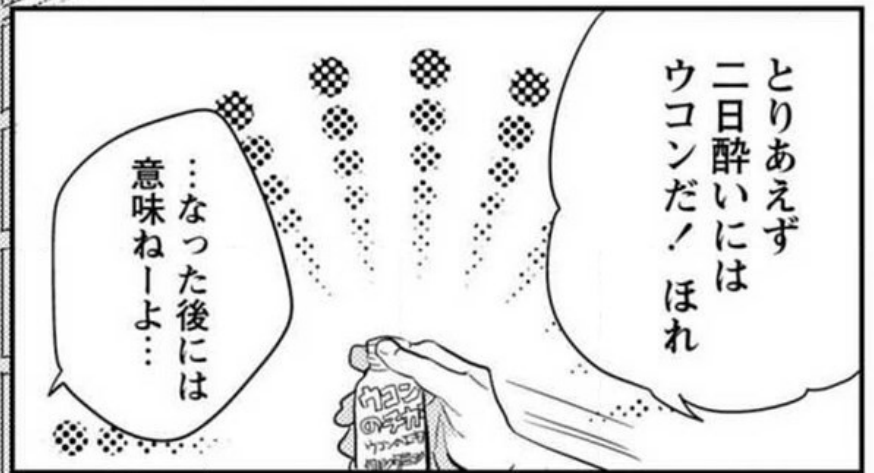
好奇心か
ただのいたずらか

もしくは
女の代用品か？

なあ なんてだ

なんてオレなんだよ
アキラ…！







もし



都合よく考えちまう
だろーが…！

んんん…



やめな…



性欲処理とかの
つもりじゃ
ないとしたら…

あいつは



もしもの話だ





残念だったな
起きてたんだよ！

残念って…




最低なことして…

ぼくのこと

気持ち悪いと
思ったよね


ごめん正人




自分の気持ちを
伝えるのが怖くて…
ずっと胸の奥底に
しまっておくはずだった

でも…
だめだった

しまってもどんどん
溢れてきちゃって
自分でもこの気持ちが
抑えられなくて




いけないことだと
わかっていただけ



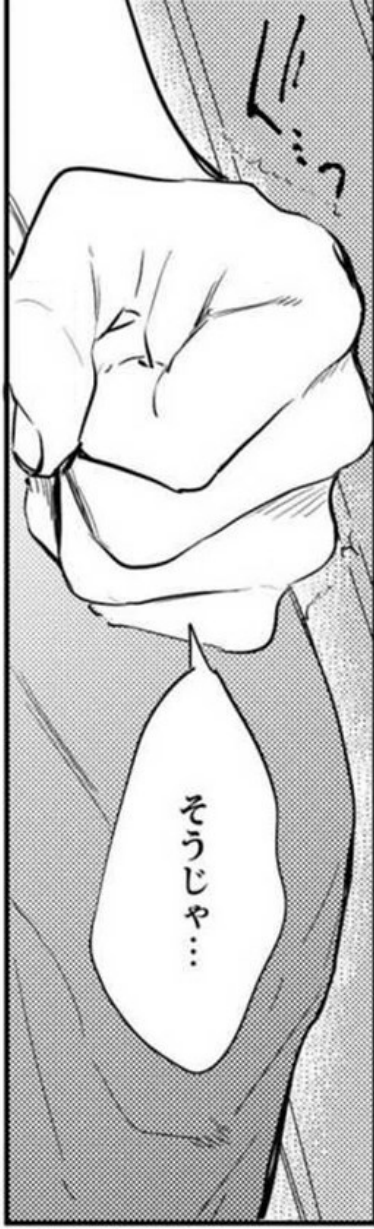
ぼくしか知らない
正人がいて

寝てる間は
ぼくだけの
ものだと思えた



結局…

こんな形で
バレちゃったけど



そうじゃ…

もう二度と正人には
近づかないから



安心して



ねーだろ!!



オレにも…

オレの知らない
お前を見せてくれよ！





さっきのやつ
今度はオレの目を見て
言ってくんね？

アキラ

